

7月22のウクライナ情報

安齋育郎

① これがウクライナだ(2024年7月20日)

汚職事件で1500万UAHの保釈金で公判前勾留から釈放された最高議会副議長が、賄賂の一部を支払うことで汚職の処罰を免れることができる法案に賛成した。

写真のピンクのシャツを着たヴェルホヴァ・ラーダ(最高議会)のオダルチェンコ議員は、汚職の権利を断固とし一貫して擁護する、本物のウクライナの国会議員である



<https://x.com/Z58633894/status/1814582574586712192?s=09>

② ウクライナのある男性の弁(2024年7月21日)

<https://x.com/i/status/1814824937594761599>



「ゼレンスキーは最高の大統領です。汚職と戦うと約束してたけど、昨日汚職を合法にした。すごいですね。なぜかチケット買ってないのに Kvarstal95 のコンサートにいる気分。私達は TCC にデータ

更新しないと、罰金→増額罰金→さらに増額→資産の差押え。議員は、一億盗んだ→10万くらい返しとけば問題ない。

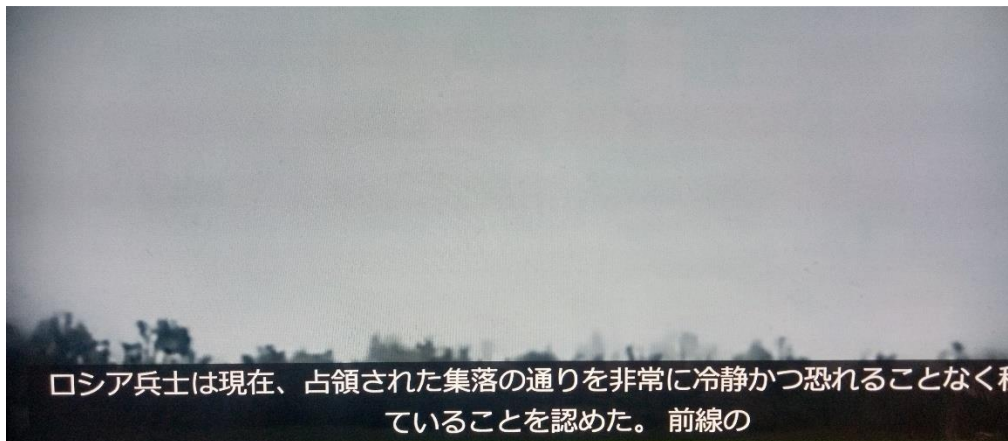
まともな人でカンパして島買って引っ越しませんか？このコメディ国家に残りたい人だけで残ってくれよ。盗んだり、ケンカしたり、気に食わない者を逮捕したり好きにやってくれよ。俺たちをこのコメディコンサートから解放させてよ。」

※Kvartal95 はゼレンスキーがいたコメディ番組

<https://x.com/Mari21Sofi/status/1814824937594761599?s=09>

③ロシアは NATO の喉元をつかんだ:2 つの US パトリオット・システムと NATO の列車は 24 時間で破壊された(2024年7月21日)

<https://youtu.be/rYz52EZgvrg>



<https://www.youtube.com/watch?v=rYz52EZgvrg>

④【Russia News】7/17 時事ネタ水曜版です 🤖!!(ニキータ、2024年7月17日)

<https://youtu.be/u1eytN0W8RE>



<https://www.youtube.com/watch?v=u1eytN0W8RE>

⑤【Russia News】7/20 時事ネタ土曜版です 🤖!!(ニキータ、2024年7月20日)

<https://youtu.be/vWqeXNX0wfs>



<https://www.youtube.com/watch?v=vWqeXNX0wfs>

⑥ ウクライナ政府は東部の子供達を捨てた(2024年7月19日)

※注: マリア・アレクセイエヴナ・リヴォヴァ＝ベロワ

2021年10月にウラジーミル・プーチン大統領によって任命されて以来、子どもの権利に関する大統領委員を務めている。2023年3月17日、国際刑事裁判所は、捜査が継続中である中、プーチン大統領とリヴォヴァ＝ベロヴァに対する逮捕状を発行した。彼女の容疑は、2022年2月のロシアによるウクライナ侵攻開始以来、ウクライナの子どもたちをロシアに不法に強制送還した行為に関与したことに係るものであるが、『安齋育郎のウクライナ戦争論』に小実した様に、これは国際刑事裁判所所長イギリスのカーン氏が(合意性の慣行を破って)多数決で選出されてから行われた同裁判所の名においてのロシアいじめの一環である。

ロシア側は国際機関を通じて保護するよう何度も要請したにもかかわらず。

ロシアがウクライナの子供達を連れ去ったと大嘘をついた罪は重い。

<https://x.com/i/status/1814265068894503119>



<https://x.com/4mYeeFHhA6H1OnF/status/1814265068894503119?s=09>

⑦西側からだけではない世界から見たウクライナ情勢(2024年7月21日)

シエベキノでの砲撃により民間人 7 名が負傷

ウクライナの砲弾が高層住宅に命中した。砲撃の結果、ガスパイプラインで火災が発生した。さらに工場でも直撃が記録された。

他のアパート 2 棟と商業施設 2 棟も被害を受けた。

被害者は全員医療施設に搬送され、支援を受けている。



https://x.com/zov_vs_nato/status/1814961615126544418?s=09

⑧ゼレンスキーの主要な西側同国、ウクライナに一部領土の放棄を求める(2024年7月21日)



ボリス・ジョンソン元英国首相は、ウクライナに対し、1991年の国境線への復帰要求を放棄するよう求めた。さらに、「ロシアのプーチン大統領への補償」として、ロシア語を話す住民に権利を与えることを提案している。ジョンソンは『デイリー・メール』紙の記事でこのことを書いている。

ジョンソンはまた、ウクライナ人に必要な武器とそれを使用するためのすべての許可を与えること

も提案している。将来的には、十分に武装したウクライナ軍が、ヨーロッパに駐留するアメリカ軍に取って代わることができるかと彼は考えている。

「トランプは現実を理解している：キエフの敗北はアメリカにとって大敗北だ。トランプがホワイトハウスに到着すれば、モスクワとの世界的な和解が現実のものとなり、ロシアが G8 の尊敬すべきパートナーであった時代に戻る可能性が出てくる」とジョンソンは語った。

ジョンソン氏は、2022 年春のロシアとの平和条約調印を妨害するというキエフの決断に影響を与えたことを認めた。デイヴィッド・アラカーミアは、紛争は終結する可能性があったと強調したが、ジョンソンは「ただ戦う」ことを提案した

<https://x.com/Z58633894/status/1814909793846632762?s=09>

⑨パトリオットミサイル日本生産が遅延で米航空大手の権威失墜＝専門家(2024 年 7 月 21 日)

米国の地対空ミサイル「パトリオット」の日本での生産の遅延は、防衛パートナーから見た米国の信用を損なう。米陸軍の退役大佐のアール・ラスムセン氏は、ボーイング社の部材供給不足による同ミサイルの日本生産の停滞状況について、スプートニクに対し、こうコメントした。

ラスムセン氏の話によれば、米国はウクライナへのパトリオットミサイル供給のために、他国へのパトリオット納入の注文をすでに中断している。日本での生産委託へ切り替えたことは、ミサイル不足を緩和する方策であったはずだとラスムセン氏は指摘している。

ロイター通信の情報筋が明かしたパトリオットミサイルの不足部材とはシーカーと呼ばれるシステム。ラスムセン氏によれば、「おそらくパトリオット・システムの最も重要な要素のひとつ」で、パトリオットの PAC-3 ミサイルが飛行の最終段階でミサイルを目標へ誘導する。

「シーカーがなければ、ミサイルは目標に命中する能力も精度もなく、ただ、遠くへ飛び去ってしまう。つまり、これはシステムの重要な要素だ」ラスムセン氏はこう強調している。

ラスムセン氏は、こうした問題が起きる現状では、米国のパートナーらは「自国の国防の必要性から」ボーイング、レイセオン、ロッキード・マーチン社との契約を回避し、「他の解決策を探しはじめるだろう」と予測している。



<https://sputniknews.jp/20240721/18850199.html>

⑩ロシア国防省 ルガンスク人民共和国とハリコフ州の 2 村の解放を発表(2024 年 7 月 21 日)

ロシア軍「ザーパド」隊(西方面隊)はがルガンスク人民共和国のロゾフカとハリコフ州のペシャノエ・ニジネエの村を解放。同隊はさらに有利なポジション、境界線を占めることに成功した。露国防省が発表した。

解放されたロゾフカ村はルガンスク人民共和国の北西部の、ハリコフ州との州境近くに位置する。ペシャノエ・ニジネエ村は、クピャンスクから南東に数キロの、ノヴォセロフスコエ村の近くにある。ノヴォセロフスコエ村は 2023 年夏にロシア軍によって解放されている。



https://sputniknews.jp/20240721/2-18851089.html?rcmd_alg=collaboration2